文化財をたずねて

古知地区めぐり

三津神社

万治2年（一六五九）建立とされ、素戔嗚命を祭神とするも明治41年（一九〇八）に村社を合祭して「播磨国諸神社」が納められていた。平田信吉氏の臣、高坂弾正の三男がここの地で草庵を開いたのが始まりで、その六男浄念のとき、亀山本願寺より寺号を賜ったと元和8年（一六一二）が開創とされる。縁ケ辻道の本堂を持ち、夢ケ丘（町最大で浄土真宗派の寺院である。

（一乗山）蓮華寺

天長年間（八二四～八三三）に慈覚大師の開基と伝わる本堂は円筒造り。本尊の阿弥陀如来像（市指定重要有形文化財）も安置されている。

紀頃の造立とされる木像十一面観音坐像（市指定重要文化財）は、「播磨国諸国巡礼」の中に「古知之庄石仏」として紹介されている。十世紀ごろの作で、その六男の子孫の地蔵菩薩は秘仏として本尊の阿弥陀如来像の左側に安置されている。

天御酒神社・若王子神社・巨智賀那塚古墳群

（一四二）の刻銘があり、鎌倉時代の特徴を伝える宝篋印塔

文化財をたずねて

古知地区めぐり

光瑞寺

天御酒神社より

蓮華寺　木造十一面観音坐像

清瀬翁功徳碑

蓮華寺

高長へ　高長より

天御酒神社

(伝)巨智賀那塚古墳跡

若王子神社

光専寺

義民滑甚兵衛塚

夢前町古知之庄

古知之庄石仏

上岡遺跡

夢前町塩

『播磨鑑』に「潮のさす田」があり、塩田と称していた所に元文年間（一七三六～四十）頃に温泉が湧き出たと記される。古くから湯治場として栄えた。

塩田温泉郷

古知小学校

夢前町古知之庄

義民塩田利兵衛塚

置塩神社

石造無縫塔

（法恩寺跡墓石群内）

法恩寺木像薬師如来坐像は、兵庫県立歴史博物館で保存

山川神社

※A

起点・糸田北口バス停

※B

夢前町糸田周辺

山川神社

※A

置塩サービスセンター

梅谷遺跡石剣出土地

昭和38年の工事中に弥生時代中期の粘板岩製の磨製石剣が出土した。

終点・糸田バス停

糸田橋

夢前糸田局

糸田公民館

古知ゴミ・プラセンター

柏森神社

※B